

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
商業 ビジネス基礎	2	1年 情報ビジネス科	必修	ビジネス基礎 新訂版 (実教出版)	全商商業経済検定 3級問題集(実教出版)

学習目標	すでに、現在における経済社会の一員として自分自身をとらえ、ビジネスに関する基礎的および実践的な知識と技術を習得することを目標とし、適切に諸活動に対応することのできる能力を身につけていく。また、日々進化していく経済活動に関して明確な関心を持ちさらにすばやく適応できる力量を身につける。
評価の 観点・規準	「知識・技能」 現代の急速に変化していくビジネス社会についての基礎を身につけていくため、主体的に取り組んでいき、将来のビジネスに役立つ適切な対応、及び技能の習得を目指していく。单元ごとにレポートを提出し自分自身の理解を深めていく。
	「思考・判断・表現」 ビジネス活動における基礎・基本的な知識と技術を身につけた上で思考を深めていき、それをもとに判断力・表現力を身につけていく。
	「主体的に学習に取り組む態度」 自ら進んで課題に取り組んでいく姿勢を身につけていき、ビジネスの世界において実践できる力量を身につけていく。
評価の方法	「知識・技能」 授業時間内における実技テスト及び单元ごとのレポートについての評価。さらに、定期テスト及び小テストにおける評価を総合的に判断していく。
	「思考・判断・表現」 課題への取り組み状況に重点を置いていき、さらに実技テストなどにより評価していく。
	「主体的に学習に取り組む態度」 教員からの問いかけに対する回答さらに自ら積極的に理解するための取り組みを総合的に評価していく。

学期	学習計画および内容
1 学期	(1) 商業科目における学習ガイダンス 変化の激しいビジネス社会の構造を理解していくために、商業科目の基礎科目であるビジネス基礎においてマーケティング・情報処理・簿記などの商業科目を学んでいく意義を理解しその土台を確立していく時期と考えその学習期間を確立していく。
	(2) ビジネスとコミュニケーション 自ら考え、自ら学ぶ習慣を身につけ流通の基礎を学習していく。自給自足の時代から現代のキャッシュレス社会に至るまでの歴史を確実に学習しどのような流れで現代に至ったかを様々な経済活動を通して理解を深めていく。
2 学期	(3) 経済と流通の基礎 国際化した現在を支える流通について学んでいき、物流業及び倉庫業の重要性を理解していく。日本だけの物流にとらわれることなく、世界がつながっていることを様々な例を考え理解を深めていく。
	(4) 企業活動の基礎 様々な形態の企業があることへの理解を深め、起業についての発想についても学んでいく。実際に電卓を用い利益をあげるための活動を計算することも含め学習を深めていく。
3 学期	(5) ビジネスと売買取引 決算の方法が現在多岐に渡っており、現金を扱う機会が極端に減少していることなど現在のビジネスの状況を理解・学習していく。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	6月「全商珠算・電卓実務検定試験」を受験する。 2月「全商商業経済検定」を受験する。 検定代金・教材費およそ3,000円が必要になる。
---------------------------	---